

令和4年度

令和5年1月31日発行

文部科学省研究開発指定校

SSH スーパーサイエンスハイスクール

SSH だより

第5号



東京都立日比谷高等学校

東京都 SSH 合同発表会

12月18日(日)に、東京都SSH合同発表会が行われました。これは、東京都内のSSH指定校が集まり、相互に日頃の学校の活動の成果や課題を発表し、意見交換を行うことを目的に、研究の口頭発表とポスター発表を行っているものです。今年も、工学院大学を拠点に、各校からオンライン参加の形で行われました。本校からは理数探究I履修の2年生を中心に、参加者が視聴覚室に集まり、オンラインで開会式と基調講演会に参加しました。その後、理科教室6か所に分かれて、興味のある口頭発表を視聴しました。また、ポスター発表は、メールを通してではありますが、質疑応答が行われました。本校から参加した、口頭発表6件のタイトルは表の通りです。また、ポスター発表19件の参加がありました。

分野	口頭発表タイトル
物理	nanoVNAを用いたマイクロストリップ回路における情報通信の効率化
化学	草木染をした布の耐光堅牢性向上におけるケルセチンの有用性について
生物	ハーブがカビの生育に及ぼす影響
地学	色等級図を用いて散開星団M44の距離を求める
情報	ソート処理時間から考察する計算量の評価
数学	完全数の拡張

TOKYOサイエンスフェア

11月13日(日)に、科学の甲子園東京都大会が多摩科学技術高等学校で行われました。科学の甲子園は、高等学校等(中等教育学校後期課程、高等専門学校を含む)の生徒チームを対象として、物理・化学・生物・地学・数学・情報領域における複数分野の競技を行う取り組みです。

今年度、本校から、選抜された2年生6名が参加し、筆記競技(物理・化学・生物・地学・数学・情報の問題やその複合問題)と実技競技に臨みました。実技競技は、渡された材料を活用して、ウインドカーを走らせるという課題でした。

結果発表と表彰式は11月27日(日)に、東京ビッグサイトで行われました。日比谷高校は、筆記競技では化学領域と生物領域で36校中1位でした。また、この日は研究発表のポスターセッションも行われ、化学分野と地学分野の2組が参加しました。ポスター発表のタイトルは以下の通りで、現在理科ホール前の廊下に掲示してあります。



化学分野	煮色着色をする前に金属を大根おろしにつける理由
地学分野	散開星団M44の距離を求める

SSH講演会

日比谷高校ではSSH事業の取組として、希望者を募って様々な講演会を行っています。この半年の間に行われたものの一部を紹介します。今後も、随時、講演会が開催されますので、1, 2年生の皆さん、興味のあるものに参加してみませんか。内容や日程は決まり次第、SSHの掲示板等で連絡します。

1. 9月13日 WWFジャパン協力ワークショップ型研修

『生物多様性の危機』

講師：共同通信社編集委員・WWF ジャパン理事

井田 徹治 氏



2. 11月14日 英語で物理学

『Audio : Science serving Art』

講師：東京藝術大学

Dr. W. G. HOWIE



3. 12月12日 TDK講演会

『変貌するコンピューターと自動車

～独創的な技術が未来を創る～』

講師：TDK株式会社 浅井海岡 氏

劉 麗華 氏

* 関連記事が日経サイエンス4月号に掲載予定です



4. 1月11日 英語で分子生物学

『ムシが運ぶ病気とそのリスク』

講師：東京慈恵会医科大学

嘉糠 洋陸 教授



祝 入賞 (1月10日の全校集会で表彰がありました)

日本金属学会 高校生最優秀ポスター賞 (2年生)

日本学生科学賞 東京都大会努力賞 (3年生)

化学グランプリ 2022 支部長賞 (3年生)

グローバルサイエンティストアワード 優秀賞(2年生)

奨励賞(2年生)

SSH成果報告会

2月4日(土)

生徒・保護者の方は

申し込み不要です。時程等

詳細は校内掲示、学校の

Webサイトをご覧ください